

思い出の下手渡小学校

県内で開校3番目・独立校舎トップ



昭和20年代後半と思われる大運動会。校舎正面玄関（左）をバックに記念撮影

明治5年6月に民家借り開校

翌年「耕雲寺」境内に校舎造る

下手渡地域にも小学校が置かれていた。

下手渡村では、学校設立にいち早く取り組んだ。全国的な学校制度が生まれた明治5年、その年の6月6日に当村の佐藤五平治宅を借りて開校した。県内では、現在の相馬郡新地町の2校に次ぐ3番目の創立。翌年9月、耕雲寺境内に校舎を建設した。独立校舎の建設は県内でトップとみられる。

藩学の影響大きい いち早い学校設立

下手渡村には、下手渡藩の学問所（藩学）や寺子屋が置かれていた。このため、以前から教育に対する関心が高かったことが学校設立を早めたものと思われる。

- 1 明けゆく空のそよ風に
たちばな香る手渡の子が
遠き御祖のあと仰ぎ
今日も楽しく集うなり
今日も仲良く学ぶなり

- 2 清き流れの広瀬川
悠久の真理を語るかな
学びの道もかくこそと
今日も楽しく集うなり
今日も進んで学ぶなり



下手渡小学校校歌 立花殿様称える

下手渡小学校では、下手渡少年少女の歌が校歌として歌われていた。校歌でも殿様を称えている。作者は、第27代校長の海野仁氏。

小学校のあゆみ

明治5年（1872年）

学校創立。下手渡字町33番地の佐藤五平治宅を借り校舎とする。

明治6年（1873年）

耕雲寺境内に校舎を新築する。

明治20年（1887年）

小島尋常小学校下手渡分教室となる。

明治21年（1888年）

下手渡字坂本2番地に校舎を新築移転する。

明治23年（1890年）

小島尋常小学校から分離し、下手渡尋常小学校となり、上手渡に分教室を置く。

明治26年（1893年）

上手渡分教室は独立して、上手渡尋常小学校となる。

明治35年（1902年）

大暴風により校舎が倒壊する。下手渡字町48番地の高木定五郎宅を借り上げ仮校舎とする。

明治36年（1903年）

校舎改築完成する。

昭和11年（1936年）

校舎増改築完成する。

昭和16年（1941年）

国民学校令により校名を下手渡国民学校と改める。

昭和18年（1943年）

校舎公会堂兼教室（2室）増改築完成する。

昭和22年（1947年）

六三制による小中学校発足。小手村立下手渡小学校と改称される。

昭和30年（1955年）

月館町と小手村が合併して月館町立下手渡小学校となる。

昭和40年（1965年）

月館小学校に統合され、閉校となる。

月館小学校に統合

『閉校に涙ぐむ』

昭和40年3月31日、町の学校整備計画により閉校。同年4月1日、月館小学校に統合した。昭和40年3月26日、関係者多数集まり、閉校式が行われた。出席した

地域住民の中には、まだ統合に不満を抱いている人や別れを惜しむのかそっと涙ぐむ女性教師、主婦の姿も見られ、複雑な雰囲気会場を包んでいたと当時の福島民報の新聞記事に掲載された。

下手渡小学校は、92年の歴史を刻み、昭和40年に閉校となった。その間に893名の卒業生を送り出した。この事実を忘れることなく、後世に伝えていきたい。

**坂本に新築移転する
『閉校までこの地に』**
明治20年、新たに学校改築に取り掛かった。翌年4月、耕雲寺境内から坂本二番地に校舎を新築、移転した。以後、閉校まで、この地に小学校が置かれた。



門柱は耕雲寺に移転する

閉校後、学校にあった石の門柱は、寺子屋や学校があったゆかりの場所、耕雲寺の参道入り口に移転された。

（写真上の左側石柱）



偲ばせるもの 石垣や桜古木

学校跡の東側の石垣（写真上）や桜の古木（写真左）は、学校があった当時を偲ばせる唯一のもの。現在は工場跡となっている。



未来を担う子ども達の声



- Q1 将来の夢は何ですか？
Q2 下手渡の好きなところは？
Q3 下手渡がこうなったらいいな、
というところは？

★現在子ども会に所属している元気な下手渡っ子13名に聞いてみました★



おおた 圭悟君 (小2)

Q1 将来の夢はタクシ一の運転手さんだよ。お父さんがタクシ一の運転手でかっこいいから僕もなりたい。

Q2 友達の家が近いところが好き。特に光輝君とは学校でもよく遊ぶよ。

Q3 うーん、何だろう。このままでいいかなあ。



ながね 光輝君 (小2)

Q1 サッカー選手になりたい。サッカーが好きで、友達とよく学校でしてるんだ。野球も好きだから、野球選手にもなりたい。

Q2 夏祭りが好きだよ。虫もいっぱいいるから虫採りできるところも好き。虫はつかめないけど・・・。

Q3 放射能がなくなつて欲しい。



たかぎ 優人君 (小2)

Q1 将来は自衛隊になりたい。かっこいい戦車に乗りたいたから陸上自衛隊。18歳までにはなるんだ。

Q2 雪がいっぱいあるところ。家族が仲良しなところが好き。

Q3 倉庫の瓦礫を片付けたい。



さとう 菜摘さん (小3)

Q1 ケーキ屋さんになりたいです。生クリームがたっぷりのったデコレーションケーキが一番好き。

Q2 まゆちゃん(馬場麻由ちゃん)の家が近いこと。

Q3 今のままでいいと思う。



Q1 ケーキ屋さんになりたいです。みんなが「美味しい」って言うってくれたら嬉しいもん。チョコレートケーキが一番好き。

Q2 なつちゃん(佐藤菜摘ちゃん)の家が近くて、川の音や鳥の声が聞こえるのも好き。大声出して遊べる場所も。下手渡の夏祭りも大好き。

Q3 蚊がいなくなっただけ！



馬場 麻由さん(小3)

Q1 ドラえもんが好きなので、科学者になってドラえもんを開発したいです。発明品もいっぱい作るんだ。21歳までにはなるぞ。

Q2 夏祭りが好き。皆で太鼓叩いたり、出店が出たりして楽しい。子ども会で行く旅行も好き。デイズニールランドとか。

Q3 何だろう。このままでもいいと思う。



高木 響君(小4)

Q1 僕は工作が好きだから大人になったら大工さんになって大きいものを作るよ。

Q2 いとこの家が近いこと。じいちゃん、ばあちゃんと一緒に暮らせること。

Q3 伊達プラスパがサティになって欲しい！



馬場 貴之君(小4)

Q1 ピアノの先生になりたいよ。お姉ちゃん達が弾いている姿を見ていて思うようになりました。今も一生懸命習っているよ。二十歳までにはなりたい。

Q2 自然がいっぱいで空気が綺麗なところ。雪遊びや虫を採って遊べるのも下手渡が好きだよ。

Q3 暗いから電灯が欲しい。あと電車やコンビニがあればいいのにな。



馬場 明里さん(小4)



佐藤 悠真君 (小5)

Q1 僕はプロ野球選手になりたいです。今、スボ少のソフトボールに所属しています。巨人ファンです。

Q2 下手渡は全部好きです。

Q3 小5が自分だけなので、もっと同学年の男の子がいたらいいのにな。



馬場 悠樺さん (小6)

Q1 保育士かベビーシッターになりたいです。私は小さい子や赤ちゃんが好きだし、いところが保育士をしているの見て、自分もなりたいたい、と思ったよ。

Q2 自然がいっぱいなところと、親戚の家が近いところ。今は食べられないけど、山菜が食べられるところも好きだな。

Q3 もっとお店が欲しい。



馬場 ゆりえさん (小6)

Q1 人の役に立つ仕事をしたから看護師か介護福祉士になりたいよ。小学2年生からの夢です。

Q2 歴史が好きなので、下手渡藩の歴史があるとこが好きます。人ごみが無いのもいい。

Q3 もっとお店があればいいのに。



高木 巨君 (小6)

Q1 小さいころから父さんとよくゲームしていたから、ゲームが大好き。好きなゲームを作れるゲームプログラマーになるのが夢です。

Q2 祭りがいっぱいあるところが好き。夏祭りも好きだけど、お餅が食べられるどんと祭りも好きだよ。

Q3 このままの下手渡でいて欲しいな。



Q1 動物が大好きなので、ペットトリマーになりたいです。今、家でも猫を飼っています。

Q2 農業をしている人が多いところが好きです。おじいちゃんも前は畑や田んぼの仕事をしていました。それから福島の桃は大好物です！

Q3 福島みたいにもっとお店があればいいのにな。



たかぎ ゆりな
高木 優莉奈さん (小6)

つき☆たまサマーキャンプ ～3.11が繋いだ絆～



平成24年度 つき☆たまサマーキャンプより
座禅体験をしたお寺（東京都奥多摩町）で記念撮影

原発事故後、「夏休みだけでも外で思い切り遊んで欲しい」という思いが叶い、東京都奥多摩町とのサマーキャンプを通じた交流が始まりました。
初年度（平成23年）は下手渡地区の子どもだけを対象に行いましたが、次年度からは月舘町全体の子どもが対象になり、地区を越えた「町」同士の交流に発展しました。
きっかけは不幸でしたが、下手渡から始まった交流は確かな絆となって続いています。



写真左は宿泊施設「つきだて花工房」。右は体験・加工・直売機能を持つ「つきだて交流館もりもり」

きてくなんしよ花工房へ 伊達市の奥座敷！

泊まる食べる体験できる 自然を楽しむ施設が満載

忘れがたきふるさとの原風景がある伊達市月館町。

その町の中ほど、青空と山並みの稜線がくっきりとパノラマで見渡せる丘の上。ここ月館町下手渡寺窪の地に「つきだて花工房」と「つきだて交流館もりもり」があります。周辺には、森・竹林・花などのありのままの自然と農園・屋外キッチン・炭窯・遊歩道など自然を楽しむ施設が満載。

土の香り残る果実にかぶりつき、すべてを一から手作りしたかつての里山の暮らしを体験しつつ、忘れかけていた自然の面白さを発見できます。

飾らないおもてなし、それが花工房流。きてくなんしよない（来てください）。



●洋室

身障者の方にも快適にお使いいただける設備を整えています。



●和室

しつとりと落ち着きのある和空間です。



●宴会会食
季節感あふれる
お料理が自慢です。



●大浴場

大きな窓から自然の光が差し込み、季節の花が美しく咲くロックガーデン。花工房自慢のハーブ湯。

花工房で 心の休日を。

つきだて花工房は、食事・宿泊・入浴・休憩・会議と幅広くご利用になれます。また、日帰り入浴や食事、ティータイムなどもお楽しみください。

阿武隈の山並みが眺望できるお部屋でゆっくりと宿泊していただけます。

子どもたちのはしゃぐ声！ もぎたての野菜をかじる顔は 楽しさと喜びに満ち溢れる。

自然体験で
みんな森と
仲良し。



ある天気の良い日、子どもたちのはしゃぐ声が、季節野菜が実る「もりもり農園」から聞こえてきました。
土に遊び、もぎたての野菜をかじる顔は、楽しさと喜びに満ち溢れています。



自然への接し方・道具の使い方などは、森の達人がやさしくレクチャー。本来子どもが持つ逞しさが引き出されています。

自然から学ぶ 共同で作業

自然の中では、仲間や親子同士のコミュニケーションもぐんと深まります。



ハーブ教室



パウンドケーキ



ミニ門松



一貫張り教室



こんにゃく

つきだて交流館もりもりでは、農業や遊び、工芸品や料理作りなど、色々な体験教室を用意しています。

食べて遊んで学べる いろんな体験教室



野菜
直売

やさしい工房の お土産

交流館もりもり内「やさしい工房」では、地元農家が丹精込めて作った野菜や山菜、手作り加工品などが直売されています。お土産に喜ばれています。

〒960-0903 福島県伊達市月舘町下手渡字寺窪7番地
つきだて花工房 ☎024-573-3888 つきだて交流館もりもり ☎024-571-1777

新たな地域づくりで もっと元気に～。

下手渡自治会では地域に活力と元気を。少しでもそんな活動してみようと立ち上がったのが、平成20年。これまでの地域活動に加え、新たな地域づくり活動のスタートの年でもあった。この決断に至っては、行政当局の伊達市月館総合支所や福島県県北地方振興局からのご指導、ご支援によるものである。

活性化計画を定める 地域資源を活かす活動

翌年に下手渡地域づくり協議会を組織し、活動の基本となる地域活性化計画づくりに取り組んだ。協議会の一致したテーマは、「地域資源を生かした地域づくり」でした。

幕末期、現在の福島県域内には、NHK大河ドラマ「八重の桜」で脚光を浴びている会津藩など11藩が存在し、この地にも藩（下手渡藩陣屋跡）が置かれていた。

**事業財源に
県補助金活用**

この計画では、平成22年度から24年度までの3カ年

この事業には、福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）の補助金が使われている。

初年度は、東小屋建設事業などに88万円、2年度目は、案内看板設置事業などに97万円、最終年度の今年度は、歴史資料展や冊子作成事業に80万円、合わせて265万円の事業費を見込んでいます。

で下手渡藩陣屋跡整備や地域の歴史文化継承事業などを行うものとしている。



写真は今回の事業で設置した案内看板等（写真上から）

- ☐ 下手渡地域案内看板
- ☐ 下手渡藩概要案内板
- ☐ 陣屋跡一角に設置した東小屋
- ☐ 下手渡公民館前設置の陣屋跡概要案内板

歴史資料展に500人来場

「地元の人は驚きと喜び」

事業年度の最終となる平成24年度は、11月23日から3日間、下手渡公民館で下手渡藩の歴史資料展を開いた。下手渡の四季の風景写真展と講演会も同時開催した。

初日の23日は、元月館町史編集専門員の高橋圭次先生が「下手渡藩陣屋を

探る」の演題で講話。24日は、漫画家で下手渡藩城代家老子孫の屋山弘先生が「立花の殿様と下手渡藩」と題して話された。

3日間で地域内外から延べ約500人の方々が訪れた。これまでにない多数の来場者に、地元の人々は驚きと喜びに溢れていた。



大勢の来場者で会場は埋め尽くされた（写真上）
下手渡藩ゆかりのものに見入る来場者（写真下）



屋山弘先生の身の上話も聞かれ、会場は大爆笑。
楽しい時間を過ごされた聴講者の皆さん



今も残る往時の石垣や土塁などを解説した
高橋圭次先生と参加者の皆さん

事業実施経過

平成21年度

- 下手渡地域活性化計画書策定事業

整備後の維持管理経費やその負担、高齢のため参加できないなどの問題が提起されたが、「やってみよう」「できることから始めよう」ということで計画書が承認された。

平成22年度

- 陣屋跡通路、見晴らし台整備事業 36万6千円
- 東小屋建設事業 51万4千円

平成23年度

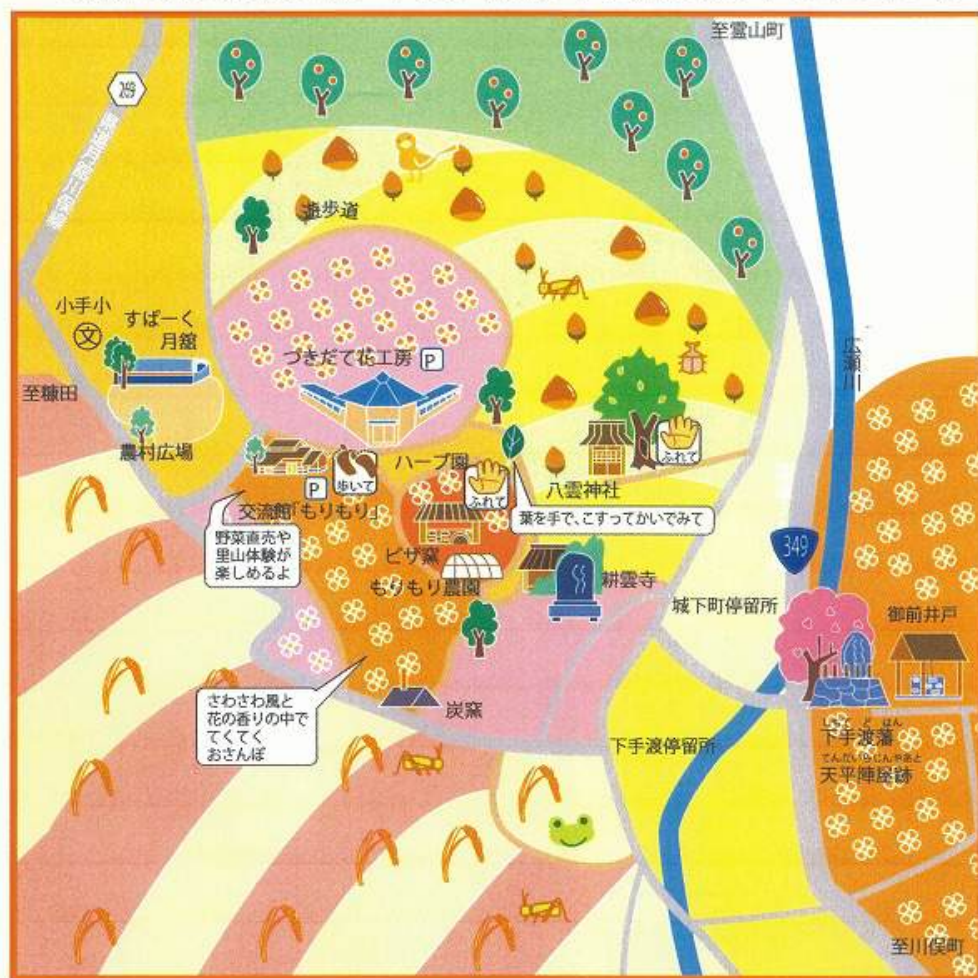
- 案内看板設置事業 39万5千円
- 侍墓地整備事業 42万円
- 記念碑設置事業 13万円
- 四季写真展事業 2万5千円

平成24年度（見込み）

- 歴史資料（写真）展事業 50万円
- 下手渡PR冊子作成事業 30万円

下手渡土産 てくてく歩いておみやげ探し？

下手渡のおさんぽ。花や木の実 鳥の声、自然のおみやげいっぱい。



今では珍しい野の花に出会うことができる。
昔を思い出させてくれるノスタルジックな
下手渡へきてみてくなんしょ。



ヤマユリ (山百合)



ショウジョウバカマ (猩々袴)



シュンラン (春蘭)



ヤマツツジ (山躑躅)

ふるさとの風景 ～天平の棚田～

昔見たふるさとの風景が数十年たって、いつの間にか失われたというようなことがある。ここ下手渡天平には、今も棚田が残されている。(写真)



裏表紙写真（愛宕神社跡地から町並みを眺望）

下手渡蟹沢地内から登ること約30分、山頂に到達。下手渡を一望に収めることができる景勝の地に、かつて、愛宕神社があった。ここは下手渡地域の北東部に位置し、鬼門に当たる場所でもある。

病気や災害から地域を守るため、神社が建立されたと言われている。神社では雨乞いも行われていた。昔は長い参道を登り、多くの人が信心していた。

現在、愛宕神社は、八雲神社の境内に移され、地域の神社として信仰を集めている。

参考文献一覧

- 出典名はその都度表示しないが、次の資料による。
- 月館町史
 - ふるさとの小径を行く
 - つきだて地元学ふるさと発見
 - つきだて花工房季刊誌
 - 「木もれ日通信」
 - 福島民報社
 - 福島民友新聞社
 - 下手渡小学校のあゆみ（南忠雄氏著）
 - 月館小百年誌

編集後記

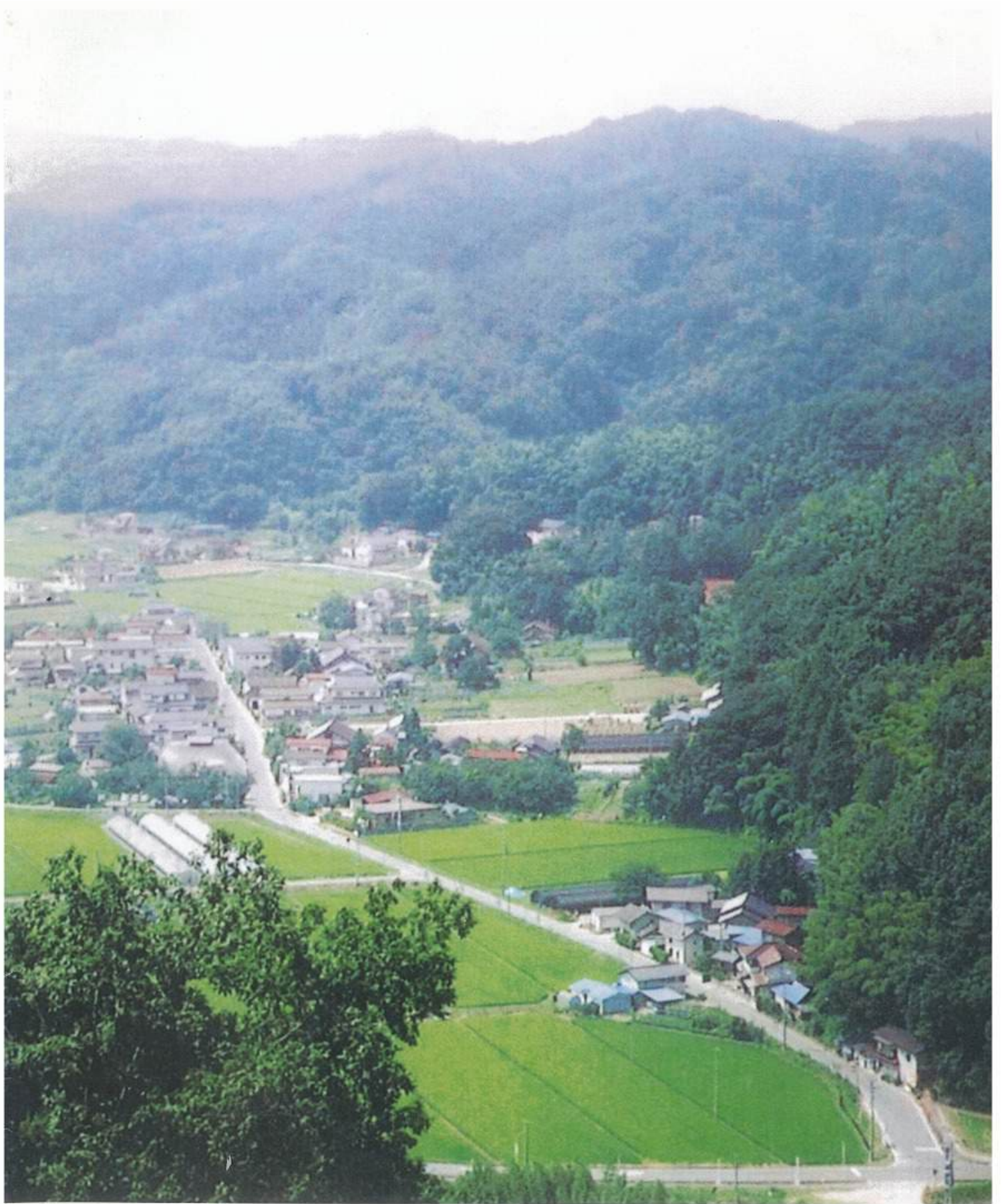
下手渡地域では、地域資源を生かした地域づくりをテーマに掲げた新たな地域づくりの指針となる地域活性化計画書を策定しました。この計画内容が評価され、福島県地域づくり総合支援事業（県補助事業）の認定に結びついたものと思われまます。

事業認定3年間の最終年度の最後の事業となりましたのが、本部会が担当する冊子作成でありました。まずは、共通認識の元で編集作業に当たることとしました。地域PRを大きな目的に、地域の魅力や良さを内外に発信できる内容にしよう、歴史や文化を継承できる資料の役割も果たそうと、作成方針を定めました。

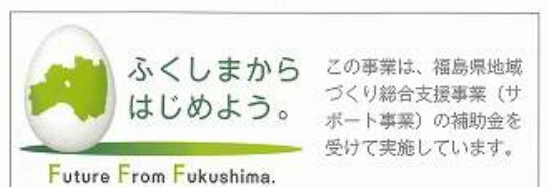
果たして意図する編集内容になっているかは、本冊子をご覧いただいた皆さんの判断を仰ぐことにします。また、紙面の都合上、掲載できなかった地域に残るお宝は、数多くあることを申し添えます。

下手渡地域PR冊子作成部会

部員	部員	部員	副部長	副部長	部長
石森	小林	佐藤	馬場	南忠	渡辺
禎枝	洋志	勝正	一祐	雄宏	好宏



発行 福島県伊達市月舘町下手渡自治会
平成24年度福島県地域づくり総合支援事業
編集 下手渡地域PR冊子作成部会
印刷 有限会社 川俣活版所
発行日 平成25年3月1日



この事業は、福島県地域
づくり総合支援事業（サ
ポート事業）の補助金を
受けて実施しています。